

平成24年7月13日



研究だより

第32号

自治医科大学附属さいたま医療センター

研究便り

脳神経外科 学内教授 田中 裕一



私の研究テーマは、クモ膜下出血後に起きる脳血管攣縮の発生機序と治療法の研究および脳血管攣縮の早期診断法の開発です。これまでの研究について説明させていただきます。私は自治医大卒業後、熊本県で地域医療に9年間携わりましたが、僻地での救急医療に力を入れてきました。その中で特にクモ膜下出血の治療に力を入れてきました。クモ膜下出血は脳動脈瘤が破裂して発症し、発症すると半分の人が死亡し、2.5人に重大な後遺症が残り、残りの2.5人しか社会復帰できない重大な疾患です。治療はまず動脈瘤にclipをかけ破裂しないようにすることが必至です。しかしclippingがうまくいっても、発症後数日して起こる脳血管攣縮（脳の主要な血管が細く収縮してしまう）により広範な脳梗塞をおこし死亡したり重篤な後遺症を残すことが多く、クモ膜下出血の予後を左右する重大な合併症です。朝まで元気に話をしていた患者が昼には意識が低下し夜には深昏睡となり脳死になる例を何人も経験し、この脳血管攣縮を何とか治療しないとけないと感じ、この病態の発生機序とその治療法の研究に情熱を傾けてきました。

この研究に本格的に取り組んだのは私が義務年限を終えて自治医大脳神経外科に入った1989年からです。東京大学農学部獣医薬理学教室の唐木英明教授にご指導をいただき、fura-2というCa蛍光指示薬を用いて、血管平滑筋の張力と細胞内Ca²⁺濃度の変化を同時に測定する方法を用いて、犬脳底動脈血管平滑筋らせん標本でのその張力細胞内Ca²⁺濃度の変化を同時測定しました。当時は脳血管攣縮の原因は血管平滑筋内のCa濃度の増加が関係すると考えられていて、Ca拮抗薬を血管攣縮の予防治療に臨床的に用いていました。

しかし、実際はあまり効果はありませんでした。唐木教授は血管平滑筋の収縮機構には細胞内Ca濃度に依存する収縮機構と依存しない収縮機構があることを見だし、Ca濃度に依存しない収縮機構については、Ca感受性の増加という機序を提唱されていました。私は、このCa感受性の増加という機序が脳血管攣縮に関係しているのではないかと考え、研究を開始しました。ラット大動脈でらせん標本作製し、まともな血管収縮を起こさせるようになるまで、その技術の習得に半年を費やしました。その後、正常犬と実験的クモ膜下出血モデルの犬の脳底動脈を用いて実験を始めました。この犬のクモ膜下出血モデルを作成するのも大変でした。初日は麻酔後気管内挿管して仰臥位で大腿動脈にカテーテルを入れ自家血を採取後、腹臥位にして後頭下を穿刺し、7-8 mlの血液を注入し、その後30分間頭を下げた体位を取らせて血液を脳底部に充分回らせておいて、呼吸状態が安定したあと犬小屋に戻します。2日後に再度同じ血液注入の処置を行います。そして7日目に麻酔下に脳底動脈を摘出して実験を開始するわけです。一人でこの作成を行うため大変で、このクモ膜下出血モデルを安定して作成できるまでに半年以上を費やしました。臨床の合間に行いますので実際の実験測定は夜から深夜、早朝まで行います。緊急手術や急患、急変があれば当然全ての実験を中止しますので多くの実験が潰れました。この研究で攣縮血管の細胞内Ca濃度はあまり増加しておらず、Ca感受性が増加していること、さらにこのCa感受性がクモ膜下出血の血液から産生されるThromboxane A₂ (TXA₂)によりさらに増強することがわかりました。この結果、脳血管攣縮の主な機序に血管平滑筋の

Ca感受性の増加が関与していることを報告し一定の評価を受けました。この研究結果に基づき、Ca感受性を減少させる薬剤が脳血管攣縮の治療に有効であろうと考え多くの薬剤を調べました。この結果、現在臨床で用いられている fasudil (Eril) と nitroglycerin の併用投与が血管弛緩作用の増強とCa感受性の減少作用を併せ持つことがわかり、その併用療法を倫理委員会の許可を受けて臨床に用いました。この結果、脳血管攣縮の発症が抑制でき3ヶ月後の予後がGood recoveryの症例が90%と非常に良い結果を得ました。

脳血管攣縮を早期に診断して治療するという事は重要なことですが、症状が出る前に診断することは困難です。この脳血管攣縮を何とか早期に診断したいと考えていましたが、なかなかその方法を見つけられずにいました。しかし、2005年に現在の自治医大脳神経外科の渡辺教授が開発された光トポグラフィ（光トポ）という器械を手にする事ができ研究を始めました。光トポは頭皮上から大脳皮質下の脳血液量の変化を検出可能という特徴があります (oxy-Hb, deoxy-Hb,

total-Hbの濃度を測定)。私達はこのoxy-Hbの濃度を酸素を吸入させて変化させ、oxy-Hbをtracerとして用いる「酸素吸入を用いた光トポグラフィによる脳虚血診断法」を開発しました。これはSPECTとの診断一致率が85%と非常に有用な検査法ですが、私達はこの診断法の応用として「脳血管攣縮の早期診断法」を開発しました。この診断法は非常に有用で、脳血管攣縮の発症前に症状が無い時期から脳虚血状態の発症を検出でき、早期に脳血管攣縮の治療を強化することで脳血管攣縮の発症を抑制できることがわかり多くの脳外科医の関心を得ることができました。今後、さらにこの診断法の応用、改良を行っていきたいと思います。

これまでの研究を通して私が得た考えは、実際に自分の体、手を使って手作りで本当に苦勞して得た研究でないと自分の身に付かず役立たないということです。この考えを今後の研修医の教育に生かしていきたいと考えています。

研究の成果

総合医学 1

消化器科

① 学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要 (2012年3月～5月)

- 1) 山中健一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 地域一般病院勤務を組み込んだ消化器専門医研修. パネルディスカッション「消化器専門医へのキャリアパス」. 日消誌2012; 109: A135 第98回日本消化器病学会総会2012. 4. 21 東京
- 2) 大竹はるか, 松本吏弘, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松徹, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: ダブルバルーン内視鏡で診断し得た腸管気腫性嚢胞症の1例. Gastroenterol Endosc 2012; 54: 1174 第83回日本消化器内視鏡学会総会 2012. 5. 12 東京
- 3) 坪井基浩, 池谷敬, 高松徹, 大竹はるか, 上原健志, 新藤雄司, 東海浩一, 池田正俊, 牛丸信也, 浅野岳晴, 松本吏弘, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原

- 規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 経乳頭的ドレナージが縦隔内膈仮性嚢胞に有効であった1例. Gastroenterol Endosc 2012; 54: 1214 第83回日本消化器内視鏡学会総会 2012. 5. 13 東京
- 4) 松本吏弘, 大竹はるか, 吉川修平, 上原健志, 新藤雄司, 池谷敬, 池田正俊, 東海浩一, 牛丸信也, 浅野岳晴, 高松徹, 岩城孝明, 福西昌徳, 鷺原規喜, 浅部伸一, 宮谷博幸, 吉田行雄: 内視鏡治療を施行した十二指腸病変36例の検討. Gastroenterol Endosc 2012; 54: 1263 第83回日本消化器内視鏡学会総会 2012. 5. 14 東京
- 5) 宮谷博幸: 膈・胆の胃からの描出について. 第1回さいたま内視鏡テクニカルカンファレンス 2012. 4. 13 さいたま市
- 6) 宮谷博幸: 酸関連疾患の診断と治療. さいたま市消化器疾患医療連携懇話会 2012. 4. 18 さいたま市
- 7) 宮谷博幸: 酸関連疾患の診断と治療 上部消化管内視鏡知っておきたいちょっとしたことなど. 第1回さいたま市消化器疾患Lecture Meeting 2012. 5. 18 さいたま市

② 原著その他論文 (2012年3月～2012年5月)

- 1) Takamatsu T, Ootake H, Uehara T, Shindou Y, Ikeya T, Toukai K, Ikeda M, Ushimaru S, Asano T, Matsumoto S, Iwaki T, Fukunishi M, Sagihara N, Asabe S, Miyatani H, Yoshida Y : A case of ruptured duodenal varices treated successfully by endoscopic injection sclerotherapy under radiographic guidance with a mixture of N-butyl-2-cyanoacrylate-lipiodol. Jichi Medical University Journal 2011 ; 34 : 87-95
- 2) 宮谷博幸 : 非特異性多発性小腸潰瘍症. 画像を診る (78) - 鑑別診断のポイント. 消化器の臨床 2012 ; 15 : 207-208
- 3) Matsumoto S, Miyatani H and Yoshida Y : Endoscopic submucosal dissection for duodenal tumors : a single-center experience. Endoscopy (in press).
- 6) 生駒亜希, 山田穂高, 吉田昌史, 木本瑞穂, 浅野智子, 青木厚, 村田美保, 齊藤智之, 佐々木正美, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 異所性ACTH症候群5例の臨床的特徴と予後 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 263, 2012.
- 7) 山田穂高, 柴野智毅, 佐々木正美, 浅野智子, 青木厚, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : チアマゾール治療再開後に無顆粒球症を発症し、重篤な敗血症を併発したBasedow病の1手術例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 285, 2012.
- 8) 佐々木正美, 山田穂高, 浅野智子, 青木厚, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 2型糖尿病患者における血中酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ骨型アイソザイム (TRACD-5b) 濃度の検討 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 296, 2012.
- 9) 眞山英徳, 青木厚, 山田穂高, 浅野智子, 佐々木正美, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 下垂体クリーゼで発見された頭蓋咽頭腫の1例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 314, 2012.
- 10) 秋本知則, 山田穂高, 浅野智子, 青木厚, 生駒亜希, 佐々木正美, 豊島秀男, 加計正文, 草鹿元, 川上正舒, 石川三衛 : 下垂体前葉機能低下症と仮面尿崩症、さらにたこつぼ型心筋症を併発したラトケ嚢胞の1例 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 319, 2012.
- 11) 村田美保, 青木厚, 浅野智子, 吉田昌史, 佐々木正美, 生駒亜希, 豊島秀男, 川上正舒, 石川三衛 : 2型糖尿病における血中osteocalcinと動脈硬化-腎症との関係 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 325, 2012.
- 12) 青木厚, 村田美保, 山田穂高, 浅野智子, 佐々木正美, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 2型糖尿病患者の頸動脈石灰化におけるオステオプロテジェリンの役割 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 363, 2012.
- 13) 吉田昌史, 中田正範, 大和志保, 出崎克也, 石川三衛, 川上正舒, 矢田俊彦, 加計正文 : 膵B細胞グルコース刺激活動電位形成時のCa依存性Kv2.1

■ 内分泌代謝科

この4-6月は学会総会の多い時期です。内分泌代謝科の発表内容を示します。

- 1) 浅野智子, 山田穂高, 青木厚, 佐々木正美, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 特異な下垂体前葉機能障害、中枢性尿崩症を呈したラトケ嚢胞の検討 第109回日本内科学会総会講演会 2012年4月13-15日 京都市/日本内科学会雑誌 101 (Suppl.) : 177, 2012.
- 2) Asano T, Yamada H, Aoki A, Sasaki M, Ikoma A, Ishikawa S : Clinical features of inferior and lateral invasive expansion of GH-producing adenoma. 15th International Congress of Endocrinology May 5-9, 2012, Florence, Italy
- 3) 石川三衛 : 教育講演 低Na血症からみたSIADH 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 146, 2012.
- 4) 石川三衛 : クリニカルアワー「バソプレシンと疾患」浮腫性疾患とバソプレシン 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 228, 2012.
- 5) 浅野智子, 山田穂高, 青木厚, 村田美保, 佐々木正美, 生駒亜希, 豊島秀男, 加計正文, 川上正舒, 石川三衛 : 下垂体機能低下症患者における動脈硬化症の検討 第85回日本内分泌学会総会 2012年4月19-21日 名古屋市/日本内分泌学会雑誌 88 (1) : 258, 2012.

- チャンネルの役割 第55回日本糖尿病学会総会
2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S92, 2012
- 14) 青木厚、村田美保、山田穂高、吉田昌史、木本瑞穂、浅野智子、齊藤智之、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：2型糖尿病の頸動脈石灰化進展と血清オステオプロテジェリンの関係 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S180, 2012
- 15) 生駒亜希、山田穂高、吉田昌史、木本瑞穂、浅野智子、青木厚、村田美保、齊藤智之、豊島秀男、石川三衛、川上正舒：2型糖尿病における混合型インスリン製剤（ノボラピッド70ミックス）の使用経験 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S192, 2012
- 16) 佐々木正美、山田穂高、浅野智子、青木厚、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛、川上正舒：DPP4阻害薬シタグルプチンからビルダグリプチンへの切り替え症例の検討 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S200, 2012
- 17) 三橋美幸、大塚潔、茂木さつき、浅野智子、村田美保、生駒亜希、佐々木正美、為本浩至、豊島秀男、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：カラー表示を用いた血糖自己測定器による糖尿病患者の血糖管理：行動変容と意識変化に関する調査 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S202, 2012
- 18) 浅野智子、山田穂高、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、加計正文、石川三衛：当センターにおいて診断された緩徐進行1型糖尿病の解析 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S221, 2012
- 19) 齊藤智之、伊村恵美子、浅野智子、青木厚、村田美保、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、河野幹彦、加計正文、川上正舒、石川三衛：降圧目標未達の糖尿病合併高血圧患者へのロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤、ロサルタン高用量投与の降圧、腎保護効果 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S221, 2012
- 20) 大塚潔、三橋美幸、堀口久光、生駒亜希、為本浩至、村田美保、豊島秀男、河野幹彦、石川三衛、川上正舒：2型糖尿病患者におけるリラグルチドの血糖降下作用と副作用：満足度の評価 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S149, 2012
- 21) 山田穂高、村田美保、浅野智子、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、豊島秀男、川上正舒、石川三衛：当院における劇症1型糖尿病の報告：一過性の心筋障害を認めた2例 第55回日本糖尿病学会総会 2012年5月17-19日 横浜市／糖尿病 55 (Suppl. 1) : S227, 2012
- 22) 齊藤智之、浅野智子、青木厚、佐々木正美、生駒亜希、石川三衛：ARB内服中糖尿病患者へのロサルタン／ヒドロクロロチアジド合剤、ロサルタン高用量投与の降圧、腎保護効果 第55回日本腎臓学会総会 2012年6月1-3日 横浜市／日本腎臓学会雑誌 54 (3) : 267, 2012.

総合医学2

■ 外科

☆原著論文

- 1) 長谷川美美、遠山信幸、小西文雄：大腿ヘルニア偽還納の1例. 日本臨床外科学会雑誌 73：1029-1030 2012

☆学会発表

- 1) 坪井基浩、野田弘志、岡村 淳、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：Mirizzi症候群で発症した平坦浸潤型胆嚢癌の一例. 第824回外科集談会 2012. 3. 24, 東京 (プログラム・抄録集p23) 口演
- 2) 小西文雄：消化管鏡視下手術における新たな工夫と展望 (ビデオワークショップ). 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 特別発言
- 3) 野田弘志、渡部文昭、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：肝胆膵領域癌根治術における門脈合併切除再建の手法. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 ビデオディスカッション (プログラム・抄録集p481)
- 4) 高田 理、清崎浩一、千葉文博、齊藤正昭、岡田晋一郎、小西文雄：当院におけるStageⅣ胃癌に対する集学的治療 (induction chemotherapy を中心に). 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p637)
- 5) 武藤雄太、野田弘志、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：膵管内乳頭粘膜性腫瘍の多臓器癌合併症、残膵内多発病変の臨床意義. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p694)
- 6) 福井太郎、野田弘志、加藤高晴、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：一般消化器外科医による腹腔鏡下副腎摘除術のLearning Curveの検討. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p724)
- 7) 加藤高晴、鈴木浩一、岡田晋一郎、神山英範、前田孝文、齊藤正昭、小泉 圭、宮木祐一郎、小西文雄：PSD遺伝子の異常メチル化に伴うRac1の不活化とUC関連大腸癌および癌化についての検討. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p770)
- 8) 柿澤奈緒、野田弘志、加藤高晴、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：高齢者 (75歳以上) の膵頭十二指腸切除の周術期治療成績の検討. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p794)

- 9) 齊藤正昭、鈴木浩一、加藤高晴、千葉文博、高田理、清崎浩一、小西文雄：胃癌発癌過程におけるセントメア領域の脱メチル化異常と染色体不安定性. 第112回日本外科学会 2012. 4. 12-14 千葉 示説 (プログラム・抄録集p502)
- 10) 遠山信幸、辻仲眞康、岡田晋一郎、小西文雄：鼠径部嵌頓ヘルニアに対する緊急手術症例の検討. 第10回ヘルニア学会学術集会 2012. 4. 27-28 愛知 シンポジウム (プログラム・抄録集p81)
- 11) 小林恵子、野田弘志、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：術後10年目に肝転移再発した大腿部平滑筋肉腫の1例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p328)
- 12) 石井剛弘、野田弘志、渡部文昭、市田晃佑、柿澤奈緒、加藤高晴、遠山信幸、小西文雄：緊急膵頭十二指腸切除を施行した膵癌の2例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p353)
- 13) 加藤高晴、野田弘志、神山英範、渡部文昭、柿澤奈緒、遠山信幸、小西文雄：大腸癌異時性肝転移と腹膜播腫再発に対し切除を施行した2例の検討. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p404)
- 14) 柿澤奈緒、野田弘志、神山英範、長谷川美美、加藤高晴、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：アメーバ性膿瘍の一例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p416)
- 15) 武藤雄太、野田弘志、神山英範、加藤高晴、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：膵胆管合流異常症に合併した若年発症した胆管癌に1例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p422)
- 16) 福井太郎、野田弘志、渡部文昭、神山英範、小西文雄：胆嚢摘出後のtraumatic neuromaの1例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p434)
- 17) 福井太郎、野田弘志、渡部文昭、遠山信幸、小西文雄：術前診断に難渋した膵腫瘍を伴う多発性内分泌腫瘍症 (MEN) 1型の1例. 第24回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2012. 5. 30-6. 1 大阪 (プログラム・抄録集p516)

■ 呼吸器外科

(論文)

- 1) Nakano T, Endo S, Endo T, Hasegawa T, Nakayama M, Sugiyama Y, Hironaka M. Multimodal Treatment of Multistation Mediastinal Lymph Node Adenocarcinoma : A Case Report. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 18 : 136-139 2012

(総説)

- 1) 遠藤俊輔 画像診断Q&A 胸部外科 65 : 496-499, 2012

(学会発表)

- 1) Endo S : Left thoracoscopic extended mediastinal lymphadenectomy following transaction of arterious ligament Japan`Korea VATS summit 4月22日 (Korea)
- 2) 峯岸健太郎ほか：右上葉+S6区域切除後、中葉を温存し右底区域切除を施行した精巣癌肺転移の1例 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月18日 (秋田)
- 3) 中野智之ほか：開心術施行後の肺癌手術症例の検討 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月18日 (秋田)
- 4) 金井義彦ほか：当院で経験したmicropapillary componentを有する肺癌手術症例の検討 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月17日 (秋田)
- 5) 手塚憲志ほか：上大静脈中枢部まで進展した胸腺癌に対する救命的上大静脈切除術の一例 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月17日 (秋田)
- 6) 遠藤俊輔ほか：肺癌術後頸部リンパ節再発症例に対するミニ胸骨正中切開胸鎖関節授動術を用いた追加郭清術 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月18日 (秋田)
- 7) 遠藤俊輔ほか：肺動脈に固着したリンパ節症例に対する胸腔鏡下区域・肺葉手術 第29回日本呼吸器外科学会総会 5月18日 (秋田)
- 8) 手塚憲志ほか：気管分岐部切除—One stoma再建—7例の検討 第35回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 5月31日 (東京)
- 9) 中野智之ほか：胸腔鏡補助下に切除したcostal exostosisの2例 第35回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 5月31日 (東京)
- 10) 中野智之ほか：縦隔腫瘍に対する上大静脈再建術の検討 第32回日本静脈学会総会 6月7日 (大宮)

- 11) 峯岸健太郎ほか：胸骨正中切開+TMAにて切除しえた胸腺癌の一例 第159回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 6月2日 (大宮)
- 12) 中野智之ほか：心タンポナーデで発症した胸腺癌の一切除例 第159回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 6月2日 (大宮)
- 13) Endo S Left thoracoscopic extended mediastinal lymphadenectomy following transaction of arterious ligament 20th European conference European Society of Thoracic Surgeons 6月12日 (German)

(講演・座長)

- 1) 遠藤俊輔：講演 第24回気管支鏡セミナー 5月29日 (東京)

■ 心臓血管外科

☆原著論文

- 1) Yuri K, Yamaguchi A, Hori D, Shiraishi M, Nagano H, Tamura A, Noguchi K, Naito K, Nemoto K, and Adachi H : Surgocal Treatment for Thoracic Aneurysms : Comparison of Stent Grasfting and Open Surgery. Ann Vasc Dis Vol.5, No.1 ; 2012 ; pp5-20

☆学会発表

- 1) 高野道俊, 小日向聡行, 竹内紘子, 白杉岳洋, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 高橋雅弥, 長野博司, 田村 敦, 木村直行, 森田英幹, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄 : 腹部大動脈破裂手術時の下行大動脈Clamp Injuryにより下半身阻欠血をきたした1例. 第27回埼玉血管外科懇話会 2012. 3. 2 ソニックシティ大宮
- 2) 牛木真理子, 安達晃一, 小日向聡行, 山口敦司, 安達秀雄 : バルサルバ洞-右房穿通を伴う急性大動脈解離. 第158回日本胸部外科学会関東甲信越地方会 2012. 3. 3 都市センターホテル
- 3) Adachi H, Kimura N, Yuri K, Adachi K, Adachi K, and Yamaguchi A. In-Hospital and Long-Term Outcomes of Surgery for Acute Type A Aortic Dissection. 20TH Annual Meeting ASCVTS March7-11,2012 INDONRSIA 20TH Annual Meeting ASCVTS abstracts : p340
- 4) Shimada N, Tanaka M, Hashimoto K, Itagaki R, Ito S, Katayama I, Ogino H, and Adachi H. Total Arch Replacement using Mild Hypothermia and Selective Antegrade Cerebral Perfusion for

- Acute Type A Aortic Dissection. 20TH Annual Meeting ASCVTS March7-11, 2012 INDONRSIA 20TH Annual Meeting ASCVTS abstracts : p398
- 5) Itagaki R, Naito K, Okamura H, Itoh S, Morita H, Yuri K, Yamaguchi A, and Adachi H. The Alps approach for One-stage Repair of Extensive Thoracic Aortic Disease. 20TH Annual Meeting ASCVTS March7-11, 2012 INDONRSIA 20TH Annual Meeting ASCVTS abstracts : p315
- 6) 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 森田英幹, 木村直行, 長野博司, 小日向聡行, 高橋雅弥, 田村敦, 佐藤健一郎, 牛木真理子, 橋本和憲, 竹内紘子, 安達秀雄: On pump/Off Pump冠動脈バイパス術の使用グラフトおよび早期グラフト開存率. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p171
- 7) 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 森田英幹, 木村直行, 長野博司, 小日向聡行, 高橋雅弥, 田村敦, 佐藤健一郎, 牛木真理子, 橋本和憲, 竹内紘子, 安達秀雄: 非保護左主幹部病変に対する冠動脈バイパス術の検討. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p455
- 8) 由利康一, 長野博司, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 弓部大動脈瘤に対する開胸手術とステントグラフト治療の検討. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p323
- 9) 田中正史, 伊藤 智, 片山郁雄, 嶋田直洋, 板垣 翔, 白杉岳洋: 透析患者の高度僧帽弁輪石灰化病変に対する僧帽弁置換術の工夫~Translocation MVR. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p337
- 10) 長野博司, 山口敦司, 森田英幹, 由利康一, 安達晃一, 安達秀雄: 大動脈-消化管瘻の治療戦略. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p427
- 11) 森田英幹, 山口敦司, 竹内紘子, 橋本和憲, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 田村 敦, 高橋雅弥, 小日向聡行, 長野博司, 木村直行, 由利康一, 安達晃一, 安達秀雄: 術後縦隔炎発生ゼロをめざしたSSI対策. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p484
- 12) 小日向聡行: 腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術の中樞側吻合-全周マツレス結節縫合による吻合法-. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p102
- 13) 野口権一郎, 堀 大治郎, 野村陽平, 田中正史: 嚥下障害にて発見された完全重複大動脈弓の1症例. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p177
- 14) 田島 泰, 山口敦司, 安達秀雄, 由利康一, 内藤和寛, 安達晃一, 森田英幹, 野中崇央: 急性広範囲型肺塞栓症に対する血栓摘除術症例の検討. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p193
- 15) 橋本和憲, 由利康一, 伊藤 智, 竹内紘子, 牛木真理子, 佐藤健一郎, 田村 敦, 高橋雅弥, 小日向聡行, 長野博司, 森田英幹, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄: 高齢者腹部大動脈瘤の開復手術とEVARが与える術後腎機能についての検討. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p206
- 16) 由利康一, 根本一成, 安達晃一, 森田英幹, 山口敦司, 安達秀雄: IFU (Instruction For Use) を順守した腹部大動脈瘤ステントグラフト (SG) 治療の中期成績. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p238
- 17) 田村 敦, 山口敦司, 小日向聡行, 高橋雅弥, 長野博司, 木村直行, 森田英幹, 由利康一, 安達晃一, 安達秀雄: 非生分解性の合成材料を用いた人工血管, Triplexの術後炎症反応の検討. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p242
- 18) 牛木真理子, 由利康一, 佐藤健一郎, 山口敦司, 安達秀雄: 腹部大動脈瘤 術中遮断により血管損傷を生じた5例の検討. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p345
- 19) 松本春信, 山本瑛介, 北岡 斎, 鈴木 潤, 出口順夫, 佐藤 紀: 腹部大動脈瘤および下肢動脈閉塞症手術における周術期塩酸ランジオロール予防投与の検討. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p346

- 20) 堀 大治郎, 野口権一郎, 野村陽平, 田中弘之, 由利康一: Shaggy Aortaに合併した下行大動脈囊状瘤に対するTEVARの一例. 第40回日本血管外科学会学術総会 2012. 5. 23-25 長野 日本血管外科学会雑誌 Vol.21 No. 3 : p331
- 21) 由利康一: Zenith ~ステントグラフト 4 製品の使用方法と適応症例~. 第7回彩の国Endovascular Surgery研究会 2012. 5. 11

☆その他

- 1) Adachi H: Chairpersons. Therapy of Vascular Disease. 第76回日本循環器学会学術集会 2012. 3. 16-18 福岡国際会議場
- 2) 安達秀雄: 高齢者大血管手術に対する周術期管理-卒後教育セミナー-. 第42回日本心臓血管外科学会学術総会 2012. 4. 18-20 秋田 日本心臓血管外科学会雑誌 Vol.41 supplement April 2012 : p31-33
- 3) 由利康一: 基調講演 大動脈瘤治療のUp To Date. 第33回さいたま循環器談話会 2012. 4. 24 ホテルブリランテ武蔵野
- 4) 松本春信: 講演 末梢血管疾患の診断と治療. さいたま血管外科講演会 2012. 5. 10 自治医科大学附属さいたま医療センター 講堂

☆著書 総説

- 1) 安達秀雄: 緊急例への対応は災害救助と同じ. メディカ出版 ハートナーシング 2012年第25巻第3号(通巻330号): p1

■ 泌尿器科

学会発表

- 1) 平井 勝, 齋藤公俊, 鷲野 聡, 松崎 敦, 小林裕, 荒井好昭: 表在性膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除術直後ピラルピシン膀胱内注入療法の再発予防効果 第100回日本泌尿器科学会総会 横浜市 2012年4月21-24日
- 2) 齋藤公俊, 平井 勝, 鷲野 聡, 松崎 敦, 小林裕: PTHrpを産生していた巨大陰嚢癌の1例 第61回日本泌尿器科学会埼玉地方会 さいたま市 2012年6月2日

研究会発表

主催、発表

- 1) 齋藤公俊, 松崎 敦, 小林 裕: 栃木さいたま泌尿器疾患セミナー さいたま市 2012年5月18日

- 2) 齋藤公俊: 気腫性腎盂腎炎の1例 さいたま市泌尿器科懇話会 さいたま市 2012年2月16日

講演

- 1) 小林 裕: 前立腺癌市民公開講座 がん時代を生き抜く技 さいたま市 2012年4月7日
- 2) 小林 裕: 大宮地区 泌尿器疾患病診連携の会「泌尿器疾患の病診連携」 さいたま市 2012年2月2日
- 3) 松崎敦: デュタステリドがPSA値に与える影響 埼玉県東部地区BPH学術講演会 さいたま市 2012年3月16日

■ 耳鼻咽喉科

<学会発表>

- 1) 飯野ゆき子, 金沢弘美, 新鍋晶浩, 吉田尚弘: 好酸球性中耳炎に対する抗IgE抗体療法の臨床効果. 第113回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2012年5月9-12日, pp512, 新潟.
- 2) 吉田尚弘, 原 真理子, 松澤真吾, 長谷川雅世, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 飯野ゆき子: 多形腺腫から未分化転化した巨大耳下腺癌症例. 第113回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2012年5月9-12日, pp450, 新潟.
- 3) 新鍋晶浩, 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 児玉 梢, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 外耳道真珠腫にともなう中耳内病変. 第113回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2012年5月9-12日, pp479, 新潟.
- 4) 長谷川雅世, 原 真理子, 松澤真吾, 新鍋晶浩, 金沢弘美, 吉田尚弘, 飯野ゆき子: 慢性穿孔性中耳炎症例の年齢に関する検討. 第113回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会、2012年5月9-12日, pp378, 新潟.
- 5) Iino, Y.: The atelectatic ear: surveillance, ventilation tubes or surgery? (ROUND TABLE10, PANEL) 11th International Congress of the European Society of Pediatric Otorhinolaryngology (ESPO), Amsterdam, May 20-23, 2012. Program p33.
- 6) Shinnabe, A., Hara, M., Hasegawa, M., Matsuzawa, S., Kanazawa, H., Yoshida, N., Iino, Y.: SURGICAL TIMIND FOR PEDIATRIC CONGENIAL CHOLESTEATOMA. (poster presentations) 11th International Congress of the European Society of Pediatric Otorhinolaryngology (ESPO), Amsterdam, May 20-23,

2012. Program pl27.

<著書・総説>

- 1) 川瀬哲明、吉田尚弘、小林俊光：錐体尖病変。「難治性疾患の診断と治療」43-58, 国際医学出版, 2011.
- 2) 吉田尚弘、飯野ゆき子：コメディカルスタッフとのコミュニケーション。「耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート」37-38, 診断と治療社, 2011.
- 3) 飯野ゆき子：地域連携の取り方。「耳鼻咽喉科・頭頸部外科研修ノート」46-48, 診断と治療社, 2011.
- 4) 吉田尚弘：【研修ノート】涙道閉塞に対する鼻内視鏡下手術。耳鼻臨床105 (3)：290-91, 2012.
- 5) 飯野ゆき子：特集【小児の耳鼻咽喉科108の疑問－耳疾患Q&A－11】慢性化膿性中耳炎の手術時期は？. JOHNS28 (3)：348-49, 2012.
- 6) 飯野ゆき子：特集【小児の耳鼻咽喉科108の疑問－耳疾患Q&A－15】小児の鼓室形成術は成人とどのように違うのか？ JOHNS28 (3)：356-58, 2012.
- 7) 吉田尚弘：特集【小児の耳鼻咽喉科108の疑問－鼻・副鼻腔疾患Q&A－9】上顎洞性鼻孔ポリープの病態とその対応は？ JOHNS28 (3)：394-96, 2012.
- 8) 吉田尚弘、飯野ゆき子：好酸球性中耳炎の診断と治療－特に局所ステロイドの使い方－. MB ENT, 139：44-48, 2012.
- 9) 飯野ゆき子：手術におけるインフォームド・コンセントの基本. JOHNS28 (4) 591- 593, 2012.
- 10) 吉田尚弘、原 真理子、長谷川雅世、児玉 梢、新鍋晶浩、金沢弘美、飯野ゆき子：症例をどうみるか－口腔底顎下部に生じ特徴的なMRI所見を呈した頬表皮嚢胞症例. JOHNS28 (5)：837-840, 2012.

<その他>

- 1) 飯野ゆき子：編集後記. Otol Jpn22 (1)：85, 2012.
- 2) 吉田尚弘 健康手帳－いびきと睡眠時無呼吸症候群－東京新聞「ショッパー」埼玉エリア8版 (平成23年5月12日号)

■ 産婦人科

学会発表

- 1) 根津幸穂, 浅尾有紀, 林 由梨, 大井朝子, 平嶋洋斗, 満下淳地, 堀内 功, 伊藤浄樹, 今野 良.

当院のTLH症例から学ぶこと. 第13回埼玉県産婦人科内視鏡研究会, 2012年3月3日, さいたま.

著書、総説

- 1) 是松元子, 今野 良, 安田政実, 清水 謙, 山内一弘. ベセスダシステム導入にあたっての標本の適正評価の現状－埼玉県支部ベセスダ委員会報告－. 日本臨床細胞学会埼玉県支部会誌, 29：35-37, 2012.
- 2) 今野 良. HPVワクチン時代の子宮頸がん検診. 日本臨床細胞学会広島県支部会誌, 32：1-11, 2012.
- 3) 平嶋洋斗, 今野 良. 子宮頸がん 妊娠合併頸癌の治療・管理. 産婦人科の実際, 61 (3)：335-338, 2012. 金原出版
- 4) 今野 良. ワクチンの最新情報 Q27 ヒトパピローマウイルスワクチン. 渡辺 博 (編), 小児の予防接種Q&A 小児科学レクチャー, 2 (2)：404-412, 2012. 総合医学社
- 5) 今野 良 (編). 知っておきたい 子宮頸がん診療ハンドブック. 2012. 中外医学社

その他

- 1) 今野 良. 子宮頸がん無料クーポン効果の実態－埼玉県自治体調査から. 第20回埼玉県子宮がん検診セミナー, 2012年2月25日, さいたま.
- 2) 今野 良. 子供たちの未来のために－きちんと正しい子宮頸がん予防－. 第63回指定都市学校保健協議会, 2012年5月20日, さいたま.

■ 歯科口腔外科

(1) 学会発表

- 1) Inoue E., Jinbu Y., Ioka Y., Sase M., Kusama M. : Oral ulceration due to indomethacin : report of a case. 66th American Academy of Oral Medicine, Charleston, 2012年4月17-21日
- 2) 大橋 望, 早坂純一, 林 宏美, 小澤通子, 佐瀬美和子, 木村希美, 室井美佳, 秋元留美, 梶 節子, 伊藤弘人, 野口忠秀, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫：大田原赤十字病院歯科口腔外科における製剤投与患者に対する口腔衛生管理の取り組み. 第66回NPO法人日本口腔科学会学術集会, 広島, 2012年5月17, 18日.
- 3) 小佐野 仁志：シンポジウム (1)；周術期の口腔管理における口腔ケア－当科における心臓血管外科患者に対する周術期口腔管理について－第

9回日本口腔ケア学会総会・学術大会、名古屋、2012年6月16、17日

- 4) 岡本 瑠珠、小佐野 仁志、井岡 友梨、中井 雄一郎、磯田 智代、草間 幹夫：下顎骨内にX線透過性病変を認めた多発性骨髄腫の1例、第193回日本口腔外科学会関東地方会、所沢、2012年6月30日

■ 救急部

A) 原著論文

- 1) 坪井謙、八坂剛一、田村洋行、榎本真也、中山祐介、藤原俊文、百村伸一：病院前救護においてAuto Pulseの使用が蘇生に奉効したと思われる心肺停止患者の1例 日臨救医誌 14 524-528 2011

B) 学会発表

- 1) 坪井謙、伊部達郎、田村洋行、榎本真也、中山祐介、八坂剛一、藤原俊文、百村伸一：痙攣発作で救急搬送され心電図上ST上昇を認めた1例：第61回日本救急医学会関東地方会 横浜 2011年2月5日（第61回日本救急医学会関東地方会プログラム・抄録集 p74）
- 2) 八坂剛一、田村洋行、榎本真也、中山祐介、坪井謙、藤原俊文：多数医療機関に救急受け入れを拒否された（たらい回し）症例の検討：第14回日本臨床救急医学学会総会 札幌 2011年6月4日（日本臨床救急医学会雑誌 14 (2) p375）
- 3) 八坂剛一、岡島真里、山岸利暢、田村洋行、榎本真也、中山祐介、藤原俊文、坪井謙：来院時ショックを呈した消化管出血症例の検討：第39回日本救急医学会総会 東京 2011年10月20日（日本救急医学会雑誌 22 (8) p569）
- 4) 岡島真里、山岸利暢、田村洋行、榎本真也、坪井謙、中山祐介、八坂剛一、藤原俊文：消化管出血に対する下部消化管内視鏡症例についての検討：第39回日本救急医学会総会 東京 2011年10月20日（日本救急医学会雑誌 22 (8) p570）
- 5) 坪井謙、石田岳史、井野隆史、渋谷哲男、湯澤俊、阿部理一郎、澁谷純一、峯真人、藤原俊文、百村伸一：さいたまスーパーアリーナ救護所の活動経験：第39回日本救急医学会総会 東京 2011年10月18日（日本救急医学会雑誌 22 (8) p619）
- 6) 坪井謙、中山祐介、榎本真也、八坂剛一、藤原俊文、百村伸一、川上正舒：DMAT撤退時の問題点 第39回日本救急医学会総会 東京 2011年10月19日（日本救急医学会雑誌 22 (8) p652）

C) その他

- 1) 田村洋行、岡島真里、山岸利暢、榎本真也、中山祐介、八坂剛一、藤原俊文：ワルファリン内服中の頭蓋内出血例に対する第Ⅸ因子複合体投与の経験 第4回埼玉県急性期治療フォーラム 浦和 2011年11月12日
- 2) 山岸利暢、岡島真里、田村洋行、榎本真也、中山祐介、八坂剛一、藤原俊文：当院でのt-PA投与例における、慎重投与群の検討 第4回埼玉県急性期治療フォーラム 浦和 2011年11月12日

■ 病理部

① 学会発表

- 1) 大井 章史、鈴木 潮人、田尻 亮輔、土橋 洋、源 利成. FISHを用いた大腸癌におけるEGFR遺伝子の増幅の検討. 第100回日本病理学会総会 2011年4月29日 東京（日本病理学会誌、100 (1) : 327, 2011）
- 2) 鈴木 潮人、湊 宏、土橋 洋、田尻 亮輔、大井 章史. 唾液腺癌におけるEGFR, HER2遺伝子増幅および蛋白過剰発現. 第100回日本病理学会総会 2011年4月30日 東京（日本病理学会誌、100 (1) : 463, 2011）
- 3) 土橋 洋、鈴木 潮人、梶村 春彦、山田 茂樹、大井 章史. 肺癌におけるエフェクター分子Aktの活性化と遺伝子変化. 第100回日本病理学会総会 2011年4月28日 東京（日本病理学会誌、100 (1) : 306, 2011）
- 4) 大井 章史、井口 雅史、原田 真市、鈴木 潮人、土橋 洋. HSR-like FISH signals of ESR1 in breast carcinomas do not reflect the gene amplification but correlate with the high gene expression status. 第70回日本癌学会総会発表 2011年10月4日 名古屋（日本癌学会誌、P-141, 2011）
- 5) 野首光弘、大木麻衣、中村啓子、河野哲也、土橋 洋：術中胸水の細胞診標本に病原体と考えられる胞子虫様の原虫を認めた膿胸の1例. 第53回日本臨床細胞学会総会、千葉市、2012年6月2日.（学会誌第51巻補冊1号369頁）

② 原著論文

- 1) Matsubara, H., Sakakibara, K., Kunimitsu, K., Matsuoka, H., Kato, K., Oyachi, N., Dobashi, Y., Matsumoto, M. Non-small cell lung carcinoma therapy using mTOR-siRNA. Int J Clin Exp Pathol 2012 ; 5 (2) : 119-125

- 2) Setsu, N., Yamamoto, H., Kohashi, K., Endo, M., Matsuda, S., Yokoyama, R., Nishiyama, K., Iwamoto, Y., Dobashi, Y., Oda, Y. The Akt/Mammalian Target of Rapamycin Pathway Is Activated and Associated With Adverse Prognosis in Soft Tissue Leiomyosarcomas. *Cancer*. 118 (6) : 1637-48, 2012.
- 3) Ooi, A., Inokuchi, M., Harada, S., Inazawa, J., Tajiri, J., Sawada-Kitamura, S., Ikeda, H., Kawashima, H. and Dobashi, Y. Gene amplification of *ESR1* in breast cancers - Fact or fiction? A fluorescence *in situ* hybridization and multiplex ligation-dependent probe amplification study. *J. Pathol.* 227 (1) : 8-16, 2012.
- 4) Dobashi, Y., Kimura, M., Matsubara, H., Endo, S., Inazawa, J., and Ooi, A. Molecular alterations in *AKT* and its protein activation in human lung carcinomas. *Human Pathol.* In press.
- 5) 蛭田昌宏, 野首光弘, 松本吏弘, 大竹はるか, 阿部 郁, 山田茂樹: 回腸-盲腸切除を行った腸管ペーチェット病の1例. *診断病理* 2012; 29: 159-163.
- 6) Hasegawa F, Kiyozaki H, Takata O, Tokai K, Uehara T, Yoshida Y, Nokubi M, Konishi F: Lymphatic invasion in small differentiated-type mucosal gastric cancer. *Clin J Gastroenterol* (in Press)

③ 著書・総説

- 1) 野首光弘: 逆流性食道炎の病理学的変化. 腫瘍病理鑑別診断アトラスシリーズ, 食道癌 (田久保・大橋 編), 文光堂, 2012, p166-169.

編集後記

今回発行にあたりましては、大変お忙しい中、田中先生をはじめ多くの先生方から投稿いただきまして、ご協力ありがとうございました。

梅雨明けを迎えて、夏本番の季節が近づき益々暑さが厳しさを増してくると思われまます。電力不足の折りですが、節電には心がけ、くれぐれも体調管理に留意されてこの夏を乗り切りましょう。

さて、少し前、通学途中の児童を巻き込んだ悲惨な事故が続き、又高速道路での大型バスの大事故など何かと暗いニュースが続きました。

そんな中、幻想的な金環日食の感動の天体ショー、そして翌日には、世界一の高さを誇る東京スカイツリーの開業がありました。少しは暗い気持ちも晴れたのではないのでしょうか。

そして、この度我が自治医大では、創立40周年を迎え式典が執り行なわれました。また、さいたま医療センターでは、管理研究棟の建築が予定されており、秋には工事が始まります。完成予定は平成26年で、完成後は益々研究活動の発展、充実が期待されます。

(N)

自治医科大学附属さいたま医療センター
研究だより 第32号

発行日 平成24年7月13日
発行 自治医科大学附属さいたま医療センター
発行責任者 センター長 百村 伸一
編集 事務部 総務課
BSL 宿舎・研修施設事務室
〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
TEL. 048-647-2111
FAX. 048-648-5166
題字 川上 正舒 前センター長

印刷 第一印刷(株)